

# ハローワークと一体となった就労支援の抜本強化

## 【「生活支援戦略」中間まとめ(抜粋)】

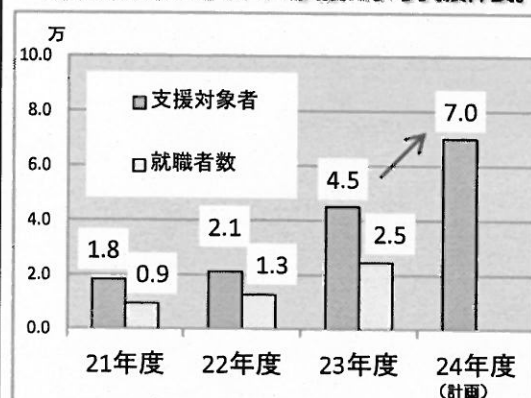
### ○ハローワークと一体となった就労支援の抜本強化

自治体とハローワークが一体となった就労支援体制(両者の一体的窓口や巡回相談等)を全国的に整備の上、就労可能な生活困窮者を広く対象に、早期のアプローチを徹底するとともに、対象者の課題に応じた能力開発等の支援施策の充実を図るなど、就労支援を抜本的に強化する。

#### <現状の取組み>

#### ○「福祉から就労」支援事業(23年度～)

- ・ ハローワークと自治体の協定等による連携基盤を踏まえたきめ細かいチーム支援により実績伸長。



#### ○アクション・プランに基づく一体的実施

- ・ 国と市の一体的実施 33市区
- ・ うち生活保護受給者等を対象にしたもの 16市区(いずれも本年6月現在)
- 支援対象者数、就職者数等で目標・計画を大きく上回る実績
- ← 福祉事務所の来所者を即時に職業紹介窓口へ誘導できる効果

(例)  
所沢市  
(平成23年9月～)  
就職者数 75人  
(目標36人)  
福祉市  
(平成23年7月～)  
支援対象者数 126人  
(目標80人)  
就職率 67.5%  
(目標60%)



### 地方自治体 (福祉事務所等)

#### 生活困窮者

生活保護受給者等  
→ 新規受給者、相談・申請段階の者等  
ポスター層に重点

児童扶養手当  
住宅手当受給者等

○ これら就労支援の対象者母数：現状でも50数万人に上ると推計

→ ワンストップ型の支援体制整備により、支援を通じ雇用による就労実現が期待できる者を可能な限り把握・支援

○ 協議会、協定の締結等の連携基盤確立

○ 一体的実施窓口、ハローワークからの定期巡回相談等、ワンストップ型の支援体制を全福祉事務所を対象に整備

→ 支援対象者の漏れない捕捉、早期支援の徹底

就労に関する支援要請

→ 両者共同で支援対象者選定の上、個別の就労支援プラン策定

※ ワンストップ窓口では即時相談・紹介も実施

### ハローワーク

#### 就職支援ナビゲーター

(現行1,000名)

等による支援体制の抜本整備

#### <主な就労支援メニュー>

- キャリア・コンサルティング
- 職業相談・職業紹介
- 職業準備プログラム
- トライアル雇用
- 能力開発プログラム
- 個別求人開拓
- 広域型を含めたマッチング等

→ 就職実現に当たっての課題を踏まえ、能力開発プログラム等の支援メニューの抜本強化

就職

雇用による就労

職場への定着・自立

職場定着に向けた  
フォローアップ強化